

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅ  
自己評価表集計結果

実施期間: H30/11/1 ~ H30/11/30

対象者: 16名

回答者数: 16名

回答率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	2	1	・基準以上のスペースを確保し、子供が快適に、安全に過ごせるように配慮しています。 ・静的に過ごす場と動的に過ごす場がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	14	2		・配置基準よりも多くの職員配置を行っています ・日によって男性職員の配置が必要に感じることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3	1	・玄関はスロープになっており、事業所内は全て段差がない構造になっている。 ・車いす、肢体不自由児に対してトイレの手すりがあると良い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	3	1	・日々のミーティングや研修会等により、目標設定と振り返りに職員が参加できるよう配慮し意見を参考にしている。 ・意見を出し合う場がもう少し欲しい。 ・支援の振り返りが出来ていないときもある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	1		・定期的に保護者会の開催やアンケート調査を行っており、そこで意見や意向等の把握に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	7		・当法人のホームページで公開を始めました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		14	2	・現在は法人内評価をとっており、保護者からの意見を尊重し、運営に反映しているため公的な第三者評価は実施しておりませんが、今後検討予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	2		・法人内の研修や、行政や他団体主催の研修に参加する機会を作っており、外部研修時は代替のスタッフに出勤してもらい確保している ・よくミーティングが行われており、それが研修ともなっている。 ・療育や支援の方法、支援計画についての研修もしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	1		・事前面談(保護者・児童)とアセスメントにより、ニーズや課題を分析し、事業所会議を開催し計画を作成するようにしている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	2		・事業所で標準化されたツールでアセスメントを行い、定期的に聴き取り等を行い更新し、児童の状況を把握している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	2	1	・朝礼・終礼・ミーティング時にスタッフの意見を取り入れプログラムの立案を行っているが、一部全員に行き届いていないこともある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	2		・季節のプログラムや、課外活動、臨時開所、SSTを行い、集団や個別プログラムが行えるよう日々取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	4		・利用時間も異なるため、主として平日は室内活動、休日は集団での課外活動、長期休暇中はSSTを中心にそれぞれの課題を抽出し、支援をおこなっている。 ・間延びしてしまうこともある。 ・臨時開所の日程が詳しく知らされていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	1		・日々の子供の状況に合わせて個別での活動や集団での活動を組み合わせながら、計画を作成している。 ・外出時は集団行動のプログラムが中心で、室内では子ども一人ひとりに個々のファイリングがあり、日々取り組めるように考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	1		・毎日必ず朝礼を行い、状況の確認や情報の共有化を行い、職員の当日の動きや、支援の内容、役割分担などを把握できるようにしている。 ・長期休暇中は行えない日もあるため、集まれなくても全員に周知していけるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	6	1	・支援終了後には、支援の振り返りを行い気付いた点や反省点、次回の支援方法について可能な限り情報共有に努めているが、次の日になってしまうこともある。 ・職員間で伝え合ったり、業務日報に記入し情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	1	・毎日記録物や書類等を確認し、チェック表を使いチェックを行っている。また、年に数回見直しを行い、支援の検証・改善に努めている。 ・保護者に伝えにくい問題点やヒヤリハットなどの記録がもっとあったら良い。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	13	3		・半年に一回は必ず計画の見直しを行い保護者との面談を得て、計画の作成・評価を見直している。 ・定期的にモニタリングを行い見直しが行われている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	13	3		・自立支援・日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などを組み合わせ合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	2		・状況を精通している管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、事業所での様子及び課題について報告するようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	3	1	・策定会議や学校の交流会などに参加し情報を共有している。また、送迎時にも情報交換、共有を行い、緊急時や送迎の変更等がある場合は連絡が取れる体制を整えている。 ・時々、下校時刻等の間違いがあるため、よりしっかりと確認を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	11		・現在は医療的ケアが必要な児童は受け入れていないが、今後可能性もあるので、主治医と連絡体制を整えられるよう取り組んでいく。提携医療機関とは連携が図れるよう整備はできている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	8	1	・定期的に相談支援事業所や、児童発達支援事業所と連絡を取り合い、就学時にスムーズに受け入れられるよう、情報を共有している。 ・就学前の情報については余り理解出来ていない。 ・就学前の情報はあまり無い様に思う。 ・特定の所との情報共有が主になっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	13	3		・相談支援事業所や、障害福祉サービス等の事業所からの要請に応じて、情報提供するようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	4	1	・状況や支援の様子、家庭での様子を相談し、必要に応じて助言をいただいている。研修にもできるだけ参加できるようにしている。 ・直接の関わりが無いので、良く分かりません。 ・連携や助言はあまり無いように思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	9	4	・直接的な交流機会は少ないが、公園や児童館等に様々な場所にいき、社会との接点を持てるよう心がけている。今後はより交流が持てるように改善していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	14	1	・研修や取り組みに可能な限り参加し、質の向上に努めていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	2		・事業所での活動の様子など、送迎時や電話等によりこまめに伝え、情報を共有し共通理解のもと支援を提供している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	10	1	・日々の様子を共有する中で、保護者の悩みなどに寄り添い理解に努め、必要に応じ助言を行っている。 ・今後、より専門的に行えるよう、研修に積極的に参加し保護者に伝えていく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	1		・見学や面談の際や利用を開始する前に、重要事項説明書や契約書の説明を通して左記の内容について詳しく説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	2		・送迎時、モニタリング時、電話、メール、訪問での相談により、必要な助言と支援を行い、状況に応じて専門職などの紹介も含めて支援をしている。 ・精一杯の対応はしているが、適切かどうかは分からない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	4	1	・保護者会や親子参加型のイベントを開催し、保護者同士の交流や連携できる場や機会を設定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		・苦情受付担当者・窓口を設置し、苦情があった場合は迅速に対応している。また、記録にも残し今後の改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	4	1	・行事の予定等を書面にて交付して情報を発信している。また、HPにて活動の様子を閲覧できるようにしている。 ・HPの存在を知らない方もいるのでは？ 今一度全員に情報が伝わるよう周知していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	16			・個人情報に関する資料については、鍵付書庫に保管し、個人情報や守秘義務について社内研修等を実施して保護の徹底に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	1		・視覚からも分かるように紙に書いたり、パソコンで文書にまとめたりしながら情報伝達を行っています。また、状況に応じて個別に連絡や訪問し意思疎通を図っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	12	3	・地域の祭りや、ゴミ拾い等に参加し、大きなイベントでは地域の方に参加を促し、交流を図れるように努めているが、あまり行っていない。また、事前に保護者様に説明・同意を得て、地域のボランティアを受け入れる体制を整えている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14	2		・各種マニュアルを策定し、保護者には契約時に説明し、職員へは研修会にて周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	1	1	・年2回程度、定期的に非難訓練を行い、職員の動きを確認している。より実践的に行うために、消防署員を呼んでの消火訓練、通報訓練や伝言ダイヤルを使用する訓練を行い、職員、児童の間で振り返りをするようにしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	2		・虐待防止に関する責任者を配置し、職員に対し研修等で周知している。また、児童相談所等とも連携を図り、早期発見、適切な対応が出来るよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	7		・契約書に明記し、説明を行っているが、身体拘束が必要な児童が現在はいない。身体拘束をやむを得ず行う場合は、左記のように手順を踏み行うこととしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	1		・事前にアセスメント、保護者に確認し、家族から医師の指示書に基づく対応を行っている。 ・個人ファイルに表示し誰が見ても分かりやすいようにしてある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	9	2	・ヒヤリハットについて書面にて報告書に残し、全職員で共有できるようにしているが、あまり共有出来ていないため、研修やミーティング等で職員に周知していく。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅこぶち  
自己評価表集計結果

実施期間: H30/11/1 ~ H30/11/30

対象者: 11名

回答者数: 11名

回答率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	1	広さは適切ではある。静と動の部屋でよりしっかり分けていけるよう改善していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1		人員基準以上の配置を心がけ手厚く関わりが持てるよう配慮している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	3	・もう少し工夫してより過ごしやすい環境を作っていきたい。 ・トイレのスペースがもう少し広いと良い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	2		必要に応じてミーティングを行い目標設定の見直しと振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2		定期的に保護者会の開催やアンケート調査を行っており、そこで意見や意向等の把握に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	5		集計後HPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	5	1	現在は法人内評価をとっており、保護者からの意見を尊重し、運営に反映しているため公的な第三者評価は実施しておりませんが、今後検討予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			・定期的に研修を行いスキルアップや質の向上を図っている。 ・店舗内研修の他、社内研修があることにより、社員全体の意識が高められる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		半年に1回はアセスメントの見直しを行い、それと事前面談により、ニーズや課題を分析し、事業所会議を開催し計画を作成するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	3		事業所で標準化されたツールでアセスメントを行い、定期的に聴き取り等を行い更新し、児童の状況を把握している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	2		プログラムについての話し合いを行い、内容に合った資料を準備し、チームで動けるよう工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			・季節のプログラムや、課外活動、臨時開所、SSTを行い、集団や個別プログラムが行えるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	2		平日、休日のスケジュールを組んで実施している。長期休暇については1日の予定を子どもたちにも伝え、先の見通しがたつように支援してる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	3		計画書は集団活動を重視しているため、バランス良く個別活動の内容も盛り込んでいく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		活動前にミーティングを行い、その日の段取りや役割を打ち合わせしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	5		日によって職員全員での振り返りが難しい日もあるが、出来る限り振り返りは行い情報を共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2		日々の記録については正しく記録をとることは徹底出来ているが、検証・改善まで繋がられていない部分もあるため、今後定期的な見直しを行い改善していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		半年に1回は計画の内容に対して評価・モニタリングを行い、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	3		各ポジションの業務内容の理解に努め、自立支援・日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などを組み合わせ合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		ケース会議等が行われる際は、管理者や児童発達支援管理責任者が必ず参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	2	1	利用日であっても下校時間があやふやなことがあるため送迎時間に誤差が出てしまい、学校側から連絡があることがあった。 保護者様とより密に連絡を取り合い、そのようなことがないように改善していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	3	現在は医療的ケアが必要な児童は受け入れていないが、今後可能性もあるので、主治医と連絡体制を整えられるよう取り組んでいく。提携医療機関とは連携が図れるよう整備はできている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	3		適宜関係機関とは連絡を取り情報交換・共有を行っているが、それが職員全体には伝わっていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3		必要に応じて障害福祉サービス事業所等に保護者様から同意を得て情報を提供しているが、上記同様それが職員全体には伝わっていないため、社員以外の職員は内容を把握できていないのが現状。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2		・センター等に出向き、必要に応じて関わり方等の助言を受けており、職員にそのレクチャー等を行っている。 ・研修等専門的な機関の話も聞ける機会があれば参加したいと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	4	・今のところ交流がほぼないので、今後交流できるような機会が増えるよう考えている。 ・あんじゅがもっと広まるように、地域行事等の参加の機会があれば積極的に参加し、交流を深めていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	6	1	・南区が中心となっているが、定期的に放課後等デイサービスの集まりがあり参加している。 ・正直良く分からないが、社員が参加していると思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2		必要に応じて保護者と面談や連絡を取り合い、子どもの発達の状況や課題についての共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5	1	・日々の様子を共有する中で、保護者の悩みなどに寄り添い理解に努め、必要に応じ助言を行っている。 ・今後、より専門的に行えるよう、研修等に積極的に参加し保護者に伝えていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			契約時に一つひとつ丁寧に説明し、理解していただけるように努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		送迎時、モニタリング時、電話、メール、面談により、必要な助言と支援を行い、状況に応じて専門職などの紹介も含めて支援をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	定期的に保護者会を行い、保護者同士が話しの出来る場や繋がりを育てる場を設けている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			苦情受付担当者・窓口を設置し、苦情があった場合は迅速に対応している。また、記録にも残し今後の改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		活動時の様子や連絡事項等は、HPに掲載して閲覧できるようにしている。また、必要に応じて手紙を配布し保護者の方に周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	11			個人情報に関する資料については、鍵付書庫に保管し、個人情報や守秘義務について社内研修等を実施して保護の徹底に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			・視覚からも分かるように紙に書いたり、連絡帳を個々に用意し情報伝達を行っています。また、状況に応じて個別に連絡や訪問し意思疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	2	個人情報の兼ね合いもあり、地域住民を招待することは難しいが、可能な限り地域の方と触れ合える場を持っていきたいと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2		左記のマニュアル等は、契約時に説明したり、事業所内に掲示するなど、職員も周知出来るように工夫している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1		年に2回以上定期的に避難訓練や通報訓練を行っている。今後も定期的に行うことで動作の確認が出来るので、修正しながらより良い避難方法を見つけていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1		虐待防止に関する責任者を配置し、職員に対し研修等で周知している。また、児童相談所等とも連携を図り、早期発見、適切な対応が出来るよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	6		契約書に明記し、説明を行っているが、身体拘束が必要な児童が現在はいない。身体拘束をやむを得ず行う場合は、左記のように手順を踏み行うこととしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2		事前にはアセスメント、保護者に確認し、医師の指示書に基づく対応を行っているが、個別に対応を行ったり、アセスメント等、もう少し分かりやすく誰が見ても分かるようにするなど、改善の余地はある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1		その都度必要がある際はカンファレンス等を行い職員間で共有している。連絡ノートをもっと活用してヒヤリハットなども含め確実に全職員に伝わるようにしていきたい。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅ そうぶだい  
自己評価表集計結果

実施期間: H30/11/1 ~ H30/11/30

対象者: 11名

回答者数: 11名

回答率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	6	1	スペースを3つに区切りながらも、開放的な形にし、活動が区切れるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1	1	・常時加配以上の人員を配置し、個別対応が必要なケースに合わせている。 ・支援度の高い子どもにマンツーマンで付いた場合、全体を見れる者が薄くなる。人数ではなく児童の特徴で皆で話し合っ見ていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1		高い段差にはスロープがあり、玄関や室内はほぼ段差はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	5		・常時変化のある利用者様情報や環境の変化に対応するため、スタッフミーティングを活用。 ・職員間で風通しが良く、意見や質問が言いやすい場が出来ている。 ・職員による業務改善によって、スタッフに必要なとされる重要な連絡事項を行い、共通認識出来ている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2		什器、設備だけでなく個別、全体の対応について広く意向が出されている。個別面談を活用し、深く聴き取りを行うことで改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	7	1	当法人のホームページで公開を始めました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	4	・現在は法人内評価をとっており、保護者からの意見を尊重し、運営に反映しているため公的な第三者評価は実施しておりませんが、今後検討予定である。 ・外部評価機能を行っているのか分からない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		内部研修についてはツールを活用。外部研修の機会も確保し、参加後他の職員にアウトプットしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		・定期的に面談を実施し、ニーズや子ども達の未来像を共有している。課題についてもニーズの受け売りだけでなく、提案しながら行っている。 ・何式のアセスメントを実施しているか知らない。ニーズや課題分析は後数人で行うべきであると思う。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	2	事業所で標準化されたツールでアセスメントを行い、定期的に聴き取り等を行い更新し、児童の状況を把握している。今後については検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	1	職員の特徴を活かしたプログラムを主として立案し、盛り込んでいる。(音楽・SST・学習支援等)
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4		・季節のものを取り入れ変化を持たせている。 ・固定化されることによる良さも理解しつつ、あえて行っている面もある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	3		土曜クラスに関しては特に各々のやる気を出す為に細やかなアセスメントを行って課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	1	施設内活動のみならず、家庭での生活、学校での活動や移動等も勘案し広い視野で立案している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1		・ミーティングでは個別支援、プログラム内容、利用者様の状態等を打ち合わせ、OJT、研修、社内規範の確認を行っている。 ・業務開始とともに、利用者様の確認、一日の流れや役割分担、必要事項など徹底的に行われている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	1	・社員間でその日あったことを必ず振り返っている。 ・社員は毎日行っているが、スタッフは出来ない日もある為、次の日や勤務時に伝えていたり、連絡ノート等、目を通して共通認識している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1	1	記録のみならず、ビデオなどで検証し改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		モニタリングに関しては、児童発達支援管理責任者のみならず、広く職員により意見を聴取し見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9	2		基本活動、ア・イ・エは組み合っている。ウに関しては地域の体験は行っているが、ボランティアの受け入れは行えていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1		児童発達支援管理責任者、保育士等、その子どもによく関わっている者、もしくはその情報を有している者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		・事業所より積極的に声を掛け連絡調整を行っている。学校により受け入れの温度差が激しい現状もあるので、粘り強く行っている。 ・保護者とのやりとりが難しい家庭においては改善点がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	3		保護者、その子どものニーズにより異なるが、必要に応じて行えるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	4	1	・各施設へ直接訪問し、担当の方と情報交換を行っている。 ・児童数名は在園時に見学、相談を行うことができた。より多くの子どもの情報共有を行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		11		・関係機関に向けて情報を提供するカンファレンスを行った。 ・例はあまりないが、渡せる情報の用意は出来ているように感じる。 ・該当する児童がいなかったため分からない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	1	管理者が研修を受け、それをグループ内で発表する形で連携している。また、ケースによっては児童相談所との連携も行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	6	・市内児童館併設の施設を利用した実績があるも、交流の機会をあえて作る事はしていない。 ・公立小、中学校は普通級と交流しているが養護学校は機会が少ないため、公民館などの行事に参加していきたいと思う。秩序も磨かれていくと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	3	具体的なリアクションは行っていないが、必要に応じて参加していきたいと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2		主に送迎時を利用し、その日の状況のみでなく現状についても話している。また、面談を行うことで、より細やかな話を行えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	3	1	・具体的な質問を積極的に受け入れることで親子の関係が向上しているケースがある。ペアレント・トレーニングの技法も取り入れ、メールや電話、面談の場で行っている。 ・相談やアドバイスが必要な保護者様が増えてきているので、より多くの方とコミュニケーションを良好にし信頼感を高めていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		特に契約時に説明を行うことにしているが、変更があればその都度ペーパーベースと併せて個別、または集団にて説明会を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2		相談があればすぐに対応し、必要に応じて関係機関と協力し対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	2	・行事に父母の参加を募り交流は行えているものの、父母の会の活動はあまり支援できていない。 ・行っているが参加者が少ない。参加する意義のある内容を考えていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	3		苦情受付担当者・窓口を設置し、苦情があった場合は、主としてエリアマネージャーや管理者が迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3	1	インターネット上に会紙をアップロードしている。活動内容、概要については活動予定表等を配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	10	1		研修等を行い徹底している。個人情報等は全て鍵付きの書庫に入れている。また、施設外への情報の持ち出しを禁じ、シュレッダーを活用している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		PCの翻訳ソフトを活用し、外国語が主な保護者との意思の疎通を図っている。障害のある方への工夫は個別で行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	4	事業所が主の行事の参加となっているため、地域向けの行事等は行っていない。今後検討は行っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	3	1	・必要なマニュアルは保管するだけでなく壁面に掲示することで即時活用出来るよう工夫している。 ・保護者様に対して、定期的に目を通してもらった方が良い。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	2		半年に一度の避難訓練、避難所の確認、消火訓練、通報訓練を行っており、HP上にも掲載している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1		・虐待防止に関する責任者を配置し、職員に対し研修等で周知している。また、児童相談所等とも連携を図り、早期発見、適切な対応が出来るよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	1	セラピューティックホールド等のレクチャーを実施。1対1の対応でも必ず第三者的な見守りを配置している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	4		事例がないが、対象者がいたら左記のような対応を行いたいと考える。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	6	2	口頭では共有しているが、全職員には伝わっていないこともあるため、今後誰もが閲覧でき共有出来るよう作成していく。

事業者向け

放課後等デイサービスあんじゅ みなみだい  
自己評価表集計結果

実施期間: H30/11/1 ~ H30/11/30

対象者: 12名

回答者数: 12名

回答率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	2		・物をなるべく置かずに広くスペースが取れるように工夫している。 ・静と動の部屋を交互に活用しながらスペースの確保に努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	2		子供の人数に合わせて基準より多く配置しているが、あと1人いると良いと思うことや男性がもう一人居たら良いと思うことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	11		段差や階段もあるため、十分とは言えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	4		・日々のミーティングを通して目標設定と振り返る場面を設けている。今後も継続しながらケース会議等を通して、対応方法など学んでいきたい。 ・ミーティングや日々の業務の中で意見交換を行うことが多いため、あまり参画する機会がない職員もいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	3		定期的に保護者会の開催やアンケート調査を行っており、そこで意見や意向等の把握に努めているが、全職員にそれが伝わっていないこともある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	9	1	今後公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	9	2	現在は法人内評価をとっており、保護者からの意見を尊重し、運営に反映しているため公的な第三者評価は実施しておりませんが、今後検討予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12			法人全体の研修や日々短時間の研修も行い、質の向上を目指している。また、外部主催の研修に参加する機会も確保し、外部研修にも参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12			事前面談(保護者・児童)とアセスメントにより、ニーズや課題を分析し、事業所会議を開催し計画を作成するようにしている。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1		事業所で標準化されたツールでアセスメントを行い、定期的に聴き取り等を行い更新し、児童の状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	1		・まずは社員同士で話し、それを元にスタッフさんの意見も取り入れながら立案を行っている。 ・主として朝礼や終礼の中で、出た意見や改善点を話し、チームで動けるよう工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1		・静、動のプログラムを行う中で、季節や行事も含めて固定化しないよう工夫している。 ・それぞれの児童の状況に合った内容を考え実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	1		1日のタイムスケジュールを作成し、見通しを持って取り組めるよう提示している。また、活動時間に合わせて外出活動や創作活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		・子供の状況に合わせて個別での活動や集団での活動を組み合わせながら、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1		毎日必ず朝礼を行い、状況の確認や情報の共有化を行い、職員の当日の動きや、支援の内容、役割分担など把握できるように努め、朝礼に参加できなかった職員に対しては、個別で伝えるよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	3	1	・支援終了後には、気付いた点や反省点、次回の支援方法について可能な限り情報共有に努めている。 ・職員間で伝え合ったり、業務日報や連絡ノート等に記入しより情報共有ができるよう努めていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1		毎日記録物や連絡帳、書類等を確認し、チェック表を使いチェックを行っている。また、年に数回見直しを行い、支援の検証・改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			半年に一回は必ず計画の見直しを行い保護者との面談でニーズや意向を聞き取り、それを得て計画の作成・評価を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	4		集団や個別での日常生活能力向上や創作活動、余暇活動等を組み合わせで行っているが、職員全員は理解できていないため、今後も研修を通してよりガイドラインの内容を理解できるよう努めていく。
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	2		状況を精通している管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、事業所での様子及び課題について報告するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12			・策定会議や学校の交流会などに参加し情報を共有している。また、送迎時にも情報交換、共有を行い、緊急時や送迎の変更等がある場合は連絡が取れる体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	10		現在は医療的ケアが必要な児童は受け入れていないが、今後可能性もあるので、主治医と連絡体制を整えられるよう取り組んでいく。提携医療機関とは連携が図れるよう整備はできている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	7		・定期的に相談支援事業所や、児童発達支援事業所と連絡を取り合い、就学時にスムーズに受け入れられるよう、情報を共有している。 ・就学前の情報については余り理解出来ていない職員が多いのも現状である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	8		・相談支援事業所や、障害福祉サービス等の事業所からの要請に応じて、情報提供するようにしている。今後バックアップ出来る体制も整え、より安心できるように連携を強化していく。 ・スタッフの一部は直接の関わりが無いため、良く分からないのも現状。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	8		・状況や支援の様子、家庭での様子を相談し、必要に応じて助言をいただいている。研修にもできるだけ参加できるようにしている。 ・スタッフの一部は直接の関わりが無いため、良く分からないのも現状。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	5	直接的な交流機会は特に持っていないため、接点を持つ交流が図れる場を増やしてしけるよう設定し、機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		9	3	積極的には参加出来ていないため、機会があれば可能な限り参加できるように努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			子どもの状況は送迎時や電話等により保護者と連絡は取り合い、状況・状態確認を行い共通した認識が持てるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	4		・活動内容を通して取り組みを伝えながら、必要に応じ助言を行い、研修を通して得た情報等も伝えている。 ・今後、より専門的に行えるよう、研修等に積極的に参加し保護者に伝えていく。
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			見学時や契約時に左記の内容の他、重要事項説明、契約内容等丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			送迎時や面談、電話のやりとりの中で情報を共有しながら、必要に応じて対応方法、支援の工夫等の助言を伝えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	4		定期的に保護者会を行い、それぞれの悩みや疑問など意見交換しながら、保護者同士の関わりの場を提供したり、保護者参加の企画を通じて多く機会を持てるように工夫している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			苦情受付担当者・窓口を設置し、苦情があった場合は迅速に対応している。また、記録にも残し職員と情報を共有し今後の改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	2		手紙やHP上にて活動内容や情報の発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	12			研修を通して再確認し強化を徹底している。また、記録物などは書庫にて鍵をかけて保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			視覚からも分かるように紙に書いたり、連絡帳を個々に用意し情報伝達を行っています。また、状況に応じて個別に連絡や訪問し意思疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	4	事業所が主の行事の参加となっているため、今後は地域の行事に参加する機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2		各種マニュアルを作成しており、研修を通して職員に伝えている。また、保護者には契約時に説明し周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	2		年に2回非難訓練を実施しており、実施前にはいつ行うかを保護者にも周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			虐待防止に関する責任者を配置し、職員に対し研修等で周知している。また、朝礼・ミーティングを通して日々の関わりを振り返りながら行い、スタッフ間同士でも意識し合えるように努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	4		契約書に明記し、説明を行い、身体拘束をやむを得ず行う場合は、左記のように手順を踏み行うこととしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	2		必要に応じて、保護者の対応方法を確認している。また、保護者から診断書や指示書を頂き、それに基づき対応出来るよう事前に調整している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	9	1	書面にて残し、ファイルに入れて周知を図っているが、誰が見ている、見ていないのかが不明のため、全員に周知し共有出来るように改善していく。	